

杉山ゆきお後援会だより

第27号



平成29年、新年のご挨拶



杉山ゆきお後援会会長 森田昌巳

新年あけましておめでとうございます。日頃から杉山ゆきお後援会活動に一方ならぬご支援・ご協力を賜りましたことについて心より厚く御礼申し上げます。

さて、今年、杉山議員は三期、三年目に入り、福生市議会正和会の一員として議会活動や地域活動を通して、福生市全域、地元の熊川地域、南田園地域、福東地域の様々な課題の掘り起こしとその課題解決のために精力的に奮闘されています。また、杉山議員は、福生市市議会選出の「福生市監査委員」として、福生市の行・財政が適切かつ厳格に執行されているか、鋭く目を光らせています。

このような杉山議員の議員活動、市政活動をしつかり支えていくためには、後援会の皆様のご支援・ご協力が不可欠でございます。私も、後援会会長として、全力を注ぐ決意でございます。後援会の皆様におかれましても、これからも、変わらぬご支援・ご協力賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

平成29年が、皆様にとつて健康で平安な年になりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成29年1月吉日

杉山ゆきお後援会 会長 森田昌巳

議員活動報告

福生市議会議員 杉山行男



後援会・支持者の皆様には、平素からのご指導・ご支援に心から感謝申し上げます。平成19年に福生市議会に送っていただきました

て10年になります。この間、私は一日一日を無駄にせず、安心して安全に暮らせる地域づくりに全力で取り組んでまいりました。平成28年度の6月議会では①「福生市長選挙について」、9月議会では②「熊川分水の保全について」、③「通学路見守りボランティア」について。12月議会では④ICT：(カンパニーマンagementシステム)を利用した学習支援について、⑤「福生市特別支援教室プログラムについて」など、当面の課題、福生市の未来を拓く課題について一般質問いたしました。

私は福生市の教育向上に強い関心を持っています。機会あるごとに市内の学校を訪問し、教育現場を拝見させていただいております。国では小学校の英語教育が必須教科となりますが、福生市は他市に先立って取り組みを開始しています。今年取り入れた英語検定に参加した小・中の子供たちの合格率は小学校平均71.2%、中学校平均41.3%でした。子供たちの学力向上には、指導する教員の資質、能力向上は欠かせません。これからも「福生市の教員はどこよりも授業力・資質が高い」といわれるような指導をお願いしたいと思っております。そのための環境づくりに、積極的に貢献・提言してまいります。

平成28年度予算で、①中央体育館のトイレの洋式化、②福生院・鍋二公園脇の道路の舗装打ち返し、③市役所脇のバイク専用駐車場、④熊川分水重要景観資源の指定が実現できました。特に②については、私の所掌事項で地域の要望を強く働きかけてきた成果であると自負しています。今後も、引き続き皆さんの笑顔に会えるよう全力で走り続けますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

福生市の「平成27年度一般会計決算認定」から読み取る福生市の財政状況

平成28年9月議会において、平成27年度の一般会計の決算が認定されました。杉山議員は市議会選出の福生市監査委員として「平成27年度一般会計決算審査意見書」を提出、「決算審査特別委員会」に付託審査の結果、本会議において、原案のとおり認定されました。福生市のHPに公開されている「決算審査意見書」をもとに、杉山議員に決算の内容と福生市の財政状況を聞きました。

実質収支額は15億円の黒字を計上！

決算の全体像は円グラフのとおりで、歳入は251億4300万円。予算額（243億8956万円）に対する収入率は103・1%。前年度との比較では15億9650万円、6・8%の増となっています。一方、歳出は235億7900万円です。予算額に対する執行率は96・7%、前年度との比較では11億5450万円、5・1%の増、また、歳入歳出差引残額は15億6398万となりました。

このことについて、福生市会計管理者は、「平成27年度の決算額は過去最高の歳出額となったが、歳入面においても各部署が知恵と工夫を持って、積極的に財源の確保に取り組んだ

結果、臨時財政対策債等市債の繰り入れ（新たな借金）もあるが、15億6000万円を超える繰越額を計上し、平成28年度以降に実施を予定している大規模事業等に対しての備えもすることができ、平成27年度決算を締めくくることができた」と総括しています。

正和会は決算認定賛成討論

杉山議員が所属する正和会は、本会議での決算認定賛成討論で、「理事者側が積極的に財源の確保に努めたことや、歳出の抑制では市内の道路照明等をLED化（杉山議員の功績大）することで多額の光熱費を節減でき、28年度以降の大規模

事業の準備を見据えた決算である」との決算認定に賛成の討論を行いました。

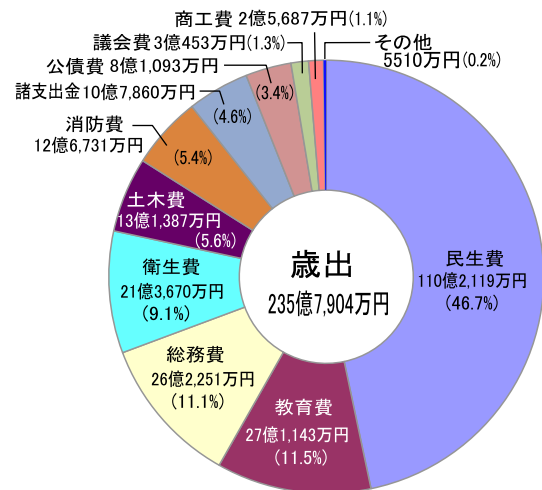
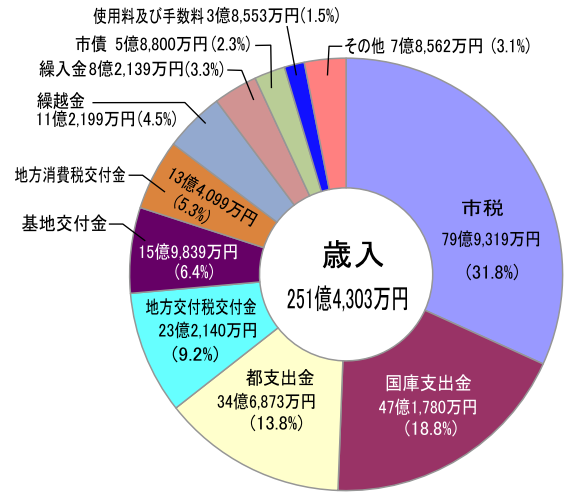
福生市の財政の健全性から見て

平成27年度の実質収支額は15億円の前年度よりも増え、福生市の財政が健全であるか、どうかは単年度の実質収支額だけでは判断できません。

下のコラムは、福生市の財政構造の健全性を評価する3つの指標について、平成23年から27年度までの推移を示したものです。

実質収支比率は改善

実質収支比率は財政収支の均衡を判断する指標として用いられ、一般的には標準財政規模の3〜5%程度が望ましい



財政構造の健全化をみる3つの指標

区分	年度	平成23年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実質収支比率 (%)		5.3	9.7	9.8	13.3
財政力指数		0.741	0.729	0.744	0.762
経常収支比率 (%)		94.9	90.5	91.9	86.2

実質収支比率 (%)

福生市の「実質収支額」（収入と支出の実質的差額（黒字・赤字）を「標準財政規模」（福生市の標準財源（税収入+地方交付金等+臨時財政対策債発行可能額）で割ったもので、財政収支の均衡を判断する指標として用いられる。

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で「標準財政収入額」（福生市の税収入、交付金等）を「標準財政需要額」（福生市が必要とする一般財源）で割ったもので、財政力指数は市の財政上の能力を示し、数字が大きくなるほど財源に余裕があるとされている。

経常収支比率 (%)

歳出のうち人件費や公債費など経常的な支出に、市税などの経常的収入がどの程度充当されているかを示すもので、その自治体の財政構造の弾力性を判断する指標となっている。この比率が高いほど財政の弾力性が失われ、財政が硬化していることになる。低いほど臨時的経費に充当し得る財源を持つことになり、新たな行政需要の発生や経済変動に対処できることになる。

とされており、福生市の平成27年度は13・3%で、前年度と比べると3.6ポイント上回っています。この数字について杉山議員は「実質収支のアップは、剰余金があるということ。3から5%の間が適当とのことは総務省の判断です。今回は予算に対して収入増の大きな要因は、消費税のアップに伴う増収です。一時的だと思っています」と説明しています。

財政力指数は依然として脆弱

財政力指数は、市の財政上の能力を示し、数字が大きくなるほど財源に余裕があるとされています。福生市の財政力指数については「決算審査意見書」は「財政力指数は0・762で前年度より若干の改善は見られるが、財政基盤の弱い構造は変わっていない。これは福生市の必要財源が89億円に対し、福生市の税収入、交付金等が69億円にとどまっているためである」と記述されています。

経常収支比率は5ポイント改善

経常収支比率は、地方自治体の財政状況を表す主要な指標の一つで、この比率が高いほど

財政の弾力性がなくなり、財政が硬直化していることを示します。一方、比率が低いほど臨時経費が必要になったときに柔軟な財政支出が可能になり、新たな行政需要や経済変動にも対応できることとなります。福生市の当年度の経常収支比率は86・2%で、前年度より5.7ポイント減少しており、改善傾向となっています。

「決算審査意見書」のまとめ

監査委員会の「決算審査意見書」は、「福生市の財政構造を3つの指標でみると、改善の傾向はみられるが、財政基盤の脆弱性は依然として否めない。今後、社会保障関連経費の増大に加え、公共施設の更新・長寿命化への対応等に多額の財源確保が必要とされる。一方で、市税収入の伸びは期待できないため、財源不足は変わらないと推測される。加えて、本格的な人口減少社会に突入している中、既存住民流出防止、新規住民誘致等、人口減少に歯止めをかけるため、限られた財源の中で、定住化対策を積極的および効果的に推進していく必要

がある。活力ある地域社会を維持していくため、従来にも増して創意工夫を凝らしコスト削減に努め、より実効性のある予算執行と戦略的な行財政運営に取り組まれるよう要望する。」とまとめています。

平成27年度の好決算により平成28年度補正予算で3億円の臨時財政対策債を全額減額

平成27年度の好決算の結果を受けて、平成28年度補正予算では、当初予算の歳入に計上していた3億円の「臨時財政対策債」を全額減額し、今年度の臨時財政対策債の発行は0円になりました。

しかし、昨年度までの福生市の臨時財政対策債の発行額は43億5732万円に達しており、福生市全体の借金総額76億1218万円の57%を臨時財政対策債が占めています。

この臨時財政対策債は、福生市が発行するいわゆる「赤字地方債」で、借金のツケは次世代までにおよぶので、むやみな発行は財政秩序の観点から好ましいことではありません。

下表は、福生市がそれぞれの事業運営、事業計画のために積み立てている基金を年別に示したものです。基金の中で⑥の「財政調整基金」は福生市が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。⑩は米軍再編が終わる来年以降は交付金が0になる見込みです。

福生市の基金 単位：円

基金の種類	平成19年8月	平成25年6月	平成26年6月	平成27年6月	平成28年6月
① 退職手当特別負担金準備基金	116,668,607	118,415,770	78,493,371	28,544,766	563,444
② 庁舎維持管理基金	1,745,441,683	26,050,270	26,067,341	26,084,401	26,101,393
③ 都市施設整備基金	1,388,630,501	1,059,922,446	760,817,960	761,567,190	1,122,344,921
④ 育英基金	15,350,000	15,350,000	15,350,000	15,350,000	15,350,000
⑤ 市営住宅等管理基金	352,698,725	313,917,782	314,123,504	298,021,103	298,215,290
⑥ 財政調整基金	1,663,708,842	1,642,612,062	1,942,923,128	2,376,112,847	2,191,594,226
⑦ 学校施設等整備基金	1,451,952,564	1,305,925,611	1,306,933,554	1,307,962,165	1,284,026,130
⑧ ふるさと人づくりまちづくり基金	413,782,023	421,448,045	426,875,830	427,219,606	417,119,486
⑨ 介護給付費準備基金	11,166	21,492,505	66,828,732	28,006,762	112,503,391
⑩ 再編交付金基金	0	452,172,033	584,813,033	717,454,033	701,177,033
⑪ 中小企業振興資金融資一時補てん基金	2,000,000	0	0	0	0
⑫ 特定防衛施設周辺整備調整交付金基金	0	0	349,006,000	299,196,000	507,900,000
⑬ 下水道事業基金		180,018,219	278,537,837	587,001,845	844,710,417
⑭ 国保高額医療費等資金貸付基金	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
合計	7,156,244,111	5,563,324,743	6,156,770,290	6,878,520,718	7,527,605,731

熊川分水の保全について

杉山◇熊川分水の保全について質問する。熊川分水は今年で完成後126年経過し、現在でも当時の面影を強く残しており、全長2075メートルの歴史的、貴重な文化資産であることは共通の認識であると思う。熊川分水はほとんどが民地、一部都地の片倉跡地内も流れている。最近、民地が売却されたり、世代がかわったりなど保全について新たな課題が出てきている。特に、売却などが行われたときに分水を暗渠にしたり、貴重な空石積みという石積みの手が加わったりする事例が出ている。民地が多いゆえ、市としての対応に限界があることも承知しているが、改めて熊川分水の保全について市の考えを伺いたい。



▲熊川分水の風景

市長◆熊川分水は、民有地の中を流れているため、所有者の維持管理が原則となっており、近年、家の建てかえや土地の売買による宅地化が進み、暗渠となる部分が増加している。

そのため市では、平成26年度より、公道等に面しており市民の誰もが分水に親しむことができる区域について、土地所有者の方と熊川分水保全に伴う土地の無償使用及び維持管理に関する協定書を取り交わし、協定後、20年間にわたり市が無償で土地を借り受け、分水の管理保全を図る熊川分水保全事業を進めている。現在までに2カ所で延長約168メートルの御協力をいただき、1カ所で所有者の方の同意を得て、協定締結に向けた手続を進めている。

熊川分水の「景観重要資源」の指定は？

杉山◇私の3月の一般質問で「熊川分水を保存し、後世に残すため、景観重要資源に向けて取り組んでまいりたい」との答弁があった。その後、景観重要資源の指定の動きはどうなっているか伺いたい。

市長◆福生市まちづくり景観条例

では「景観の形成に重要な価値があると認める建築物、工作物、広告物、土地、緑、その他の景観の形成に係るものを景観重要資源として指定することができる」とされている。指定を受けた所有者は、建築行為などの届け出義務がある一方で、保存に対する技術的援助や費用の助成を受けることができ、熊川分水を景観重要資源に指定することで、景観の保全や適正な維持管理を図ることができると考えている。そのため道路等の公共の場所から見える開渠部分であつ

通学路見守りボランティアについて

杉山◇教育委員会が作成した「教育振興基本計画実施計画」の中に「学校安全対策の充実事業」とあり「小学校通学路見守り体制の整備」が掲載されている。それらの施策の成果をはかる指標として「通学路見守りボランティア登録者数」があり、市内各地域で学校の通学時、地域の方々に見守りボランティアをしていただいている。「通学路見守りボランティア」の現状と取り組みについて伺いたい。

教育長◆通学路見守りボランティアは、登下校に児童等が交通事故や犯罪に巻き込まれることのないよう、これまで行われていた登下校の見守りボランティアの取り組みを尊重しつつ、学校保護者、地域等が連携して行う見守り体制を支える重要な活動である。平成27年度からは、ボランティア登録票を学校に御提出いただいている。二小ではPTAを中心とした見守り活動に主体的なボランティアの方が加わるなど、地域、保護者の見守り活動により、通学路の安全対策がより図られていることに感謝したい。

てある程度の延長を有する11カ所を重要資源として指定し、宅地内に流れる分水については所有者が行う維持管理に対する助成を行い、また、市道沿いの部分等で市が維持管理を直接できる場所につきましては、協定を締結し、市が維持管理を行っていくという方針を議論し、指定に向けた取り組みを進めていくことを決定した。今後、まちづくり景観審議会への意見聴取、協定書の締結等の手続を進め、ある程度の件数がまとまり次第、景観重要資源の指定を実施して行きたいと考えている。